

教授 北野 敦則 / 鉄筋コンクリート系構造研究室

主な研究内容と目指す将来像

地震大国日本において、建築構造物の耐震安全性を確保するために、また、省資源の観点から経済的に優れた建築構造を開発し、地震に対して人の暮らしが脅かされない様に実験的に研究しています。

研究キーワード

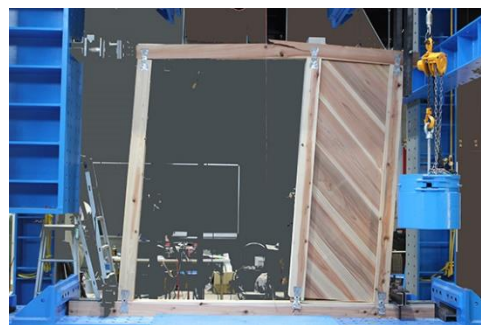
建築構造 / 耐震設計 / 鉄筋コンクリート構造 / 鋼コンクリート合成構造

研究の魅力・面白さ

- ✓部材を力学的に適材適所に配置した構造を開発しています。
- ✓実際に建築構造物の一部を製作し、加力実験を行います。
- ✓建物が壊れる様子を体験できます。
- ✓北関東有数の加力装置で実験できます。



加力装置



木造壁の実験

履修しておきたい推奨科目

建築構造計画(2年前期)、建築構造力学Ⅰ(2年前期)、建築構造力学Ⅱ(2年後期)、鉄筋コンクリート構造Ⅰ(2年後期)、鋼構造Ⅰ(2年後期)、建築構造力学Ⅲ(3年前期)、鉄筋コンクリート構造Ⅱ(3年前期)、鋼構造Ⅱ(3年前期)

研究室配属希望者へのメッセージ

建築は、デザインだけでは成立しません。日本は地震多発国です。いかに地震から人命を守るかも、建築学に託された使命です。将来、大規模な構造物を設計したい人、実際に建築現場で施工したい人、数学物理が得意な人、大歓迎です

連絡先

kitano@maebashi-it.ac.jp